



江別のみなさん、こんにちは。
3月です。月日の経つのが、とても早く感じます。
寒さが厳しくても、3月と聞くと春が近づいてきた感じがして、心がウキウキしてきますね!
とは言え、まだまだ寒いこの時期、体調を崩さぬよう気を付けましょう。

代表取締役社長 石崎 昭仁

次世代住宅ポイント *1月17日発表 12月末現在の予算消費額：166億4千万ポイント 消費率 約12.8% (予算1,300億円)

次世代住宅ポイントリフォーム、感想編

次世代住宅ポイントの申請は、3月31日で終了します。予算状況はまだ現在のところ余裕はありそうですが、年度末の追い込みで一気になくなる事も予想されます。

3月31日までに申請書が事務局に届く必要がありますが、工事内容によってはまだ間に合います。現状で申請が間に合いそうな工事は、便器の交換18000Pに合わせて洗面化粧台4000P交換で22000Pの獲得できる工事、また内窓を取り付ける等の工事です。(申請は20000P以上です。)

内窓の取り付けなどは簡単に出来ますのでご検討をお勧めいたします。

では、去年の暮れにリフォームをしたA様邸の工事状況をご案内いたします。



高断熱浴槽
専用のフロふたなどがセットの高断熱浴槽
24,000ポイント
左が33年間使用したTOTOのユニットバスです。今回採用したユニットバスはLIXILです。

大きく違うところは、高断熱浴槽と窓をなくした部分です。高断熱浴槽構造については、今では何処のメーカーさんも、当たり前前に採用されています。

窓については賛否両論ありますが、お客様の希望により窓なしとしました。お客様いわく、サッシからの冷気が気になるとの事でした。工事の概要は、浴室まわりの断熱材を入れ替え、石膏ボードを張り替えました。年数が経っているわりには、意外と構造部分と断熱部分はしっかりしていました。内部結露もなく良い状態でしたが、グラスウールを全て入れ替えました。



◀ 以前は防湿層が無い状態でしたが、今回はしっかり防湿工事を行いました。



次に段差の解消と浴室の手すり取り付け工事です。この2点はちょっと、棚ぼた的に発生した11,000ポイントでした。段差の解消、手すりの取り付けです。段差の解消については、もしかしたらポイントが付与されるかな?とと思っていましたが、浴室の手すりについては対象にならないと思っていました。段差の解消について以前のユニットは床より17cmほど上がっていましたが、この部分がフラットになった事で出入りが楽にできると仰っていました。

段差の解消
浴室などの入り口の段差の解消
6,000ポイント



お客様に、リフォーム後の感想をお聞きしてきました。

A様：まずお風呂の暖かさは格段に良くなりましたね!。以前は浴室まわりからくる冷気で、ドアを開けておく事が出来ませんでした。ドアを開けていると、脱衣室はいつも12~13℃でした。今はお風呂のドアを開けていても脱衣室は18~20℃程度あり、ほぼ室内と同じ温度で、ヒヤッと感が激減しました。ヒートショックの心配が

手すりの設置
玄関先の手すり、廊下・浴室の手すりなど生活の補助にあつても便利
5,000ポイント



減った事は良かったと思います。また、お風呂のシャワーの水量です。節水!!って感じですね!。新しいトイレも同じ感想で、節水型だな〜と。以前のトイレも決して古くは無かったのですが、やはり10年前と今のトイレでは、性能が違ふと感じました。まあ水道代が激減するとは思いませんが、何か無駄な部分が少しずつ減ってゆく事はエコで良いな〜と思っています。

掃除しやすいトイレ
便座などががり掃除しやすい便器
18,000ポイント

Q：音響熟成の床材は、どうですか?
A様：床については水まわりにあえて使用してみました。最初は気を使いましたが、1ヶ月過ぎたあたりから普通に使えています。手入れは水拭きで、何か昔感がよぎって良い感じです。漆喰と合わせて、何か自然な空気感が良いと思います。具体的に何が違うのか?・・・と聞かれると、ん〜と考えてしまいますが、良いな〜って感じです。

節湯水栓
手元止水・水優先吐水等の機能を有する水栓
4,000ポイント

Q：音響熟成の床材は、どうですか?
A様：床については水まわりにあえて使用してみました。最初は気を使いましたが、1ヶ月過ぎたあたりから普通に使えています。手入れは水拭きで、何か昔感がよぎって良い感じです。漆喰と合わせて、何か自然な空気感が良いと思います。具体的に何が違うのか?・・・と聞かれると、ん〜と考えると、良いな〜って感じです。



A様いわく、消費税は2%上がり10%でしたが、次世代住宅ポイントが57,000P取得でき、交換商品のサイトを見てワクワクもでき、思い切ってリフォームして良かったと仰っていました。

朝晩の寒さには十分注意が必要です!

温度差には、十分気をつけましょう!!

お風呂場の室温と脱衣場の室温、そしてお湯の温度。この温度差に十分注意が必要です。また、42℃以上のお湯に急につかると血圧が急上昇し、色々な症状が現れます。くれぐれも急の付く動作には注意が必要です。まずは脱衣場の室温とお風呂場の室温を上げ、ヒヤッとしない温度設定にする必要があります。これからは朝晩、冷え込む季節です。室温と浴室の温度差には注意が必要です。

